

区分	内訳	車種別ベース枠								備考	補足	変更理由
		LV0	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5	LV6				
①	消耗交換部品系	ブレーキパッド ブレーキシュー プラグ&キャップ タイヤ※	△	○	○	○	○	○	○	○	※ △印は、ヤマハ製水冷エンジン車両に関してリアタイヤサイズ上限を90/90-10とする。 ※ オーバーサイズタイヤ装着のセルモーター取外し及び、接触部のケース小加工は可、但し強度に影響がない事	ヤマハ製水冷エンジン搭載車両の順位性を調整、しかしながら、全レベルでの適用はバランスを考慮して行わない
②	油脂類	エンジンオイル ブレーキオイル ギアオイル フォークオイル 各種グリス	○	○	○	○	○	○	○	○		
③	電子部品系	CDI サブコン インジェクションコントローラー	×	×	×	×	×	×	×	○	キャブ車のインナーパーツ交換も×印で不可	
④	足回り系1	リアサス	○	○	○	○	○	○	○	○		制限廃止
⑤	足回り系2	フロントまわり式 エンジンハンガー	△	△	△	△	△	△	△	△	ポルトオン又は小加工で装着可能な他車種の純正部品流用可。それに準じる同等の社外品(純正補修部品)への交換も可 フロント周形式とは、ステム、フォーク、ホイール、シャフト、ブレーキASSYと周囲のカラー、ベアリング、ポルト等を指す。ハンドルは含まない。 コンビブレーキのセパレート化を認める	スズキ、ホンダ水冷が想定対象となりますが、車両格差を補正し、安全面を考慮して必要と判断、また変更部品を純正又はその同等品とすることでコストも考慮、小加工の定義は「溶接や旋盤、プレスでの機械加工を伴わない」とし強度面が落ちる加工も不可、レッツ系はフォークステム一体型の為、性能維持や修理部品の観点からもランニングコストを抑えることもできる(ヤマハ系を移植すれば中古相場が初期投資1万程度、補修部品のタマ数も豊富)

※区分⑥~⑪は、ご自身の＜車両/体重/その他条件＞に合わせた内訳(LV0~6)より、どれか1つ選択になります。

⑥	駆動系0	Wローラー(社外可)	△	×	×	×	×	×	×	×	純正同等(形状、外径)の社外品利用は認めるが重量変更は認めない	LV0勝利は次戦純正プラス6gの総重量追加以降、勝利ごとにWローラー総重量をプラス3gしてゆく。 ランプカバーの加工及び取り外しを認めない	よりレギュレーション縛りを的確に機能させるためローラー形状により変速をコントロールできる要素を撤廃
⑦	駆動系1	Wローラー(社外可)	×	○	×	×	×	×	×	×	純正同等(形状、外径)の社外品利用は認める	ランプカバー加工及び取り外し可	車種間バランスを考慮
⑧	駆動系2	Wローラー(社外可) ボス(社外可) フツシャ(社外可)	×	×	○	×	×	×	×	×		ランプカバー加工及び取り外し可	車種間バランスを考慮
⑨	駆動系3	Wローラー(社外可) ボス(社外可) フツシャ(社外可) プーリー&ランププレート	×	×	×	○	×	×	×	×	(社外可)以外は純正流用のみ認める		
⑩	駆動系4	Wローラー(社外可) ボス(社外可) フツシャ(社外可) プーリー&ランププレート(社外可) クラッチスプリング センタースプリング トルクカム ドリブン	×	×	×	×	○	×	×	×	(社外可)以外は純正流用のみ認める		
⑪	駆動系5/6	Wローラー(社外可) Vベルト(社外可) プーリー&ランププレート(社外可) ボス(社外可) フツシャ(社外可) フェイス(社外可) クラッチシュー(社外可) クラッチスプリング(社外可) センタースプリング(社外可) トルクカム(社外可) ドリブン(社外可) ドライブギア(社外可)	×	×	×	×	×	○	○	○			
車種区分			特例 均衡用0	<2st> (5.0ps~) <4st> ヤマハ水冷 エンジン搭載 車(ホンダO EM車除く)	<2st> (4.5~ 4.9psまで)	<2st> (4.4psまで) <4st> レッツ4系 エンジン 搭載車 その他水冷 エンジン搭載 車	<2st> - <4st> その他水冷 エンジン搭載 車	特例 均衡用1	特例 均衡用2		車種区分はシーズン中に 主催判断にて、変更の可能性 があります。		ヤマハ車両のホンダOEM化に伴う変更

※同一車種による、マフラー・外装に関して無加工で取付出来る純正パーツの流用を認める
※O2センサーの取り外しに伴うO2センサー穴のメクラ及びO2センサーキャンセルの為のパーツの取り付けを認める。

＜特別ルール＞

※整備体重78kg以下のEXPライダー(★1)は1ランクのレベルDOWN実施
★1 全国大会出場者レベル対象の選手権レースでのスクーター系レースで過去1年以内で表彰台2回以上経験者

※基本整備体重55~70kgに設定

- ・整備体重70kg以上なら、内訳1ランクのレベルUPを認める
- ・整備体重78kg以上なら、内訳2ランクのレベルUPを認める
- ・整備体重88kg以上なら、内訳3ランクのレベルUPを認める(MAX LV6)
- ・整備体重55kg以下なら、内訳1ランクのレベルDOWN実施

※勝利者ハンデあり、次戦参戦時は1ランクのレベルDOWN実施

LV0での勝利ごとに純正設定のWローラーに総重量をプラスしてゆく。規制はを繰り返して適用する(初回純正プラス6g、以降3gづつ、6g→9g→12g・・・適用回数無制限)

※整備体重に関して、事前計測の体重計誤差等の調整の為、レース当日、自身の設定体重に満たなかった場合は救済措置として、1.5kgまでのウエイトを積んでレース出場することを認める
積み方、積載物については、落下や飛散の影響を考慮して、レース前に主催側に確認してもらった了承を取ること

※レギュレーションに関しては、シーズン中に主催判断にて、変更の可能性があります

＜ご自身に適用されるレギュレーションの確認方法＞

- ①最下段の車種区分よりご自身の出場車両を選択(着色部4つより)
- ②整備体重を測定します(レースに出場する時の整備フルセットを身に付けて測定ください)
※整備体重が70kg以上の場合、又は55kg以下の場合、適用レギュレーションが変わりますので、各UP/DOWN条件に従い変更ください
※整備体重測定に関して、ご自身で計測される重量はあくまで参考値であり、正式には近畿SPL所有の体重計にて必ず測定ください
- ③前戦で優勝した場合、適用レギュレーションより1ランクのレベルDOWNした条件を適用ください(最大LV0)
- ④整備体重78kg以下のEXPライダーの場合、適用レギュレーションより1ランクのレベルDOWNした条件を適用ください(最大LV0)

適用例1	車両 レッツ4(4st) LV3 整備体重 72kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4	適用例2	車両 JOG(4st) LV1 整備体重 52kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV0	適用例3	車両 ライプダイオ(2st) LV1 整備体重 87kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4	適用例4	車両 Vino(4st) LV1 (JOG系エンジン) 整備体重 65kg 前戦優勝 した EXP 対象外 適用レベル LV0	適用例5	車両 Today(4st) LV4 整備体重 65kg 前戦優勝 した EXP 対象外 適用レベル LV3
適用例6	車両 レッツ4(4st) LV3 整備体重 65kg 前戦優勝 していない EXP 対象 適用レベル LV2	適用例7	車両 Vino(4st) LV1 整備体重 75kg 前戦優勝 した EXP 対象 適用レベル LV0	適用例8	車両 Dio-Z4(4st) LV2 整備体重 75kg 前戦優勝 した EXP 対象 適用レベル LV1			車両 Today(4st) LV4 整備体重 65kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4	

オレンジの枠、振り出しに戻る